

お問い合わせの多い質問(個人住宅)

《申請者について》

質問	回答
区内に一戸建てを所有しており、賃貸物件として貸し出している。助成の対象となるの？	一戸建ての場合、借主(使用者)が申請者となることで助成の対象となります。この場合、家主(持ち主)の同意を得ることが条件となります。
既にかつしかエコ助成金制度等に基づく区の助成を受けていないことであるが、今年度受けていなければならないということ？	電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車以外につきましては、同一種類の機器(パンフレット表の「対象機器等」ごと)に対して一度きりとなります。したがって、年度が替わっても一度助成を受けた機器に関しては対象なりません。また、別の機器に対しては助成の対象となります(昨年度:太陽光発電システム、今年度:LED など)。
申請には、申請者本人が行かなくては行けないの？	窓口には、施工業者など、代理の方がお持ちいただいても結構です。申請者本人以外が提出する場合、完了報告時の添付書類には、領収書のほかに金融機関発行の振込控の写しが必要になります。また、郵送でも受け付けいたします。

《申込書について》

質問	回答
申込書はどこにあるの？	区役所(4階410番環境課)、テクノプラザかつしか、区民事務所に置いてあります。また、ホームページからダウンロードすることもできます。
申込日はいつを書けば良いの？	提出日です。
いつまでに申込書を提出すれば良いの？	平成31年3月29日(金)まで に、郵送(必着)か窓口を持参してください。原則として設置工事前にお申し込みいただく必要がありますので、ご注意ください。 また、工事完了後2カ月以内に、領収書等必要書類を揃え、「設置完了報告書兼助成金交付申請書」とともに提出していただくことが前提条件となっておりますので、それを踏まえた上で余裕をもったお申し込み、工事等をお願いします。
印鑑は実印でないといけないの？	印鑑は実印である必要はありません。 ただし、スタンプ印(シャチハタ等)は不可です。 申込書と完了報告時の書類は同一の印鑑を押していただきます。

《申込書の添付書類について》

質問	回答
機器等の形状や規格がわかる書類はどんなものを提出すれば良いの？	対象機器の条件を確認するための書類なので、要件について記載されているパンフレットや仕様書などをご提出ください。
機器等の設置又は施工場所を示す書類はどんなものを提出すれば良いの？	機器等の設置場所や施工場所を確認したいので、それが分かるような平面図や立面図をご提出ください。図面は手書きでも構いません。 遮熱塗装等断熱改修については、施工面積が確認できるように計算式も入れてください。
機器等の設置または施工前の現況写真は、どんなものを提出すれば良いの？	現在設置している機器等の全体写真と機器等の規格等が記載されている部分のズーム写真をご提出ください。規格等が同じ場合は、その中の1つのズーム写真を提出いただければ結構です。
提出書類の中に、納税証明書とあるが、領収書でも良いの？	納税通知書(領収書)ではなく、法人住民税納税証明書及び特別区民税・都民税納税証明書の原本をご提出ください。 必ず前年度(平成30年度助成については平成29年度のものを)をご用意ください。
建物が自己所有ではなく、賃貸又は使用貸借の場合は対象になるの？	所有者の同意書を提出いただければ、対象になります。

お問い合わせの多い質問(個人住宅)

《完了報告書・請求書について》

質問	回答
申込をした年度内に完了報告書・請求書を提出しなければいけないの？	平成30年度からは、申込をした年度を超えても完了報告書・請求書を提出できるようになりました。例として、平成31年(平成30年度)3月に申込→平成31年(平成31年度)5月に工事完了→平成31年6月に完了報告書・請求書を提出ということができます。ただし、この場合、申込をした年度の要件(金額等)で助成金を受けることになります。
クレジットカードやローンによる決済を行いたい。添付書類は領収書じゃなければいけないの？	領収書を提出してください。ローンによる支払いの場合、クレジット会社あての領収書の中で申請者が確認できるものを提出してください。この場合、所有権が申請者にあることが条件となります。
請求する人は申請者でないとけないの？	申請者と請求者は同一の方をお願いします。

《入金について》

質問	回答
助成金が入金されるまでにどのくらいかかるの？	申請(完了報告)状況にもよりますが、通常ですと、申請書をいただいてから入金まで1か月程度とお考えください。

《対象機器等について》

太陽光発電システム

質問	回答
2世帯住宅で、1つの屋根に太陽光パネルを乗せ、両方の世帯で使いたい場合は？	配電盤が別々に設置しており、それぞれ別の世帯で系統電源の契約をしてあれば、別々に申請できます。この場合、申込者が別であること(領収書の名義も別々)、設置するパネルの割り振り等について、図面できちんと確認できるようになっていることが条件となります。

直管型高効率・直管型LED照明機器

質問	回答
ダウンライトなどのLED電球、シーリングライトなどは対象にならないの？	個人住宅用として助成の対象となるのは、電気工事が必要な直管型のものでさせていただきます。ご家庭用のLED電球やシーリングライトにつきましては、交換が容易であり、単価も安くなってきていることから、助成の対象となりません。取り外す機器が直管型であれば、新しい機器が同一形状でなくても対象となります。

遮熱塗装等断熱改修

質問	回答
屋上に直接、高反射率塗装を行うのではなく、日射反射率の高い防水シートによる施工をしたい。助成の対象となるのか？	日射反射率が50%を超える部材(防水シート・タイルなど)や、同等以上の性能の塗装等を施工する場合には、助成の対象となります。この場合も、第三者機関による性能の証明書を添付していただくこととなります。
材料を購入し、自ら施工したい。材料の購入費は助成の対象となるのか？	要件を満たす材料を使用する場合、助成の対象となります。この場合でも、購入する材料費の見積書、施工面積のわかる図面、性能を確認できる証明書等を提出していただきます。作業に係る費用(工賃)、使用する機器の購入代金は対象になりません。
国内の第三者機関の証明とは、具体的にどんなものか？	高反射率塗料の場合は、財団法人日本塗料検査協会が発行している試験結果報告書などになります。

電気自動車等

質問	回答
電気自動車をリースで利用したい。助成の対象となるのか？	対象となるのは購入したもののみとなり、リース・レンタルは対象となりません。

ゼロエネルギーハウス(ZEH)

質問	回答
個別の設備(太陽光発電システムや蓄電池など)は対象にならないか？	対象になります。ゼロエネルギーハウス(ZEH)以外は設置工事前(新築建売住宅は引渡し前)のお申込になりますので、時期にご注意ください。